

## 【議題（１）】部活動の地域移行について④

### １ アンケート調査の実施について

令和４年８月から「部活動の地域移行について」審議を開始し、これまでに基本的な考え方について協議してきた。

町長からの諮問への答申として、今年度末に「中間まとめ」を策定するにあたり、教師・児童生徒・保護者のニーズを把握し、より適切な内容とするためにアンケート調査を実施した。

### ２ 教師アンケート調査結果

#### （１）アンケート調査の実施内容

##### ①目的

今後の豊山町における「部活動の地域移行」に向けた検討資料とするために、町内の教師から部活動に対する考えを把握すること。

##### ②調査期間

令和５年１２月５日（火）～８日（金）

##### ③調査対象者

町内小中学校教師 １０５人対象

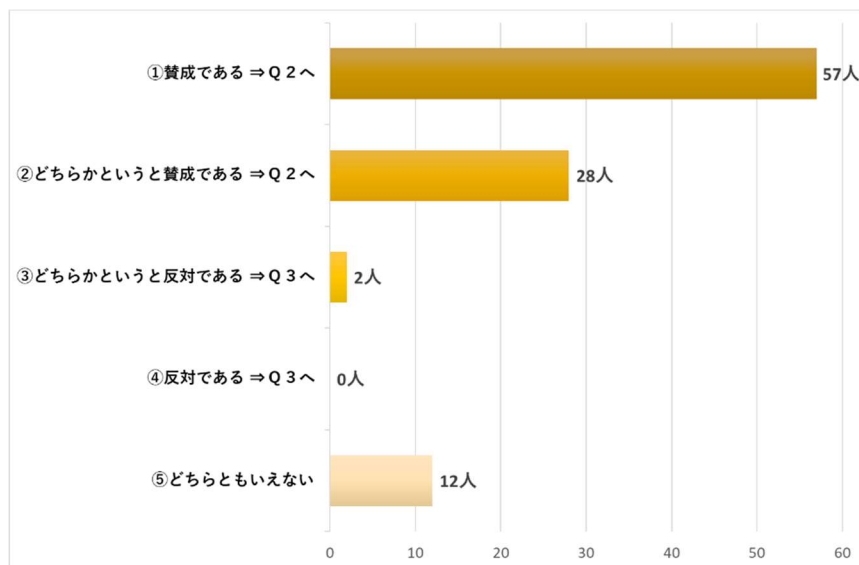
アンケート回答者 ９９人（回答率 ９４．３％）

##### ④回答方法

グーグルフォームでの入力及び記述

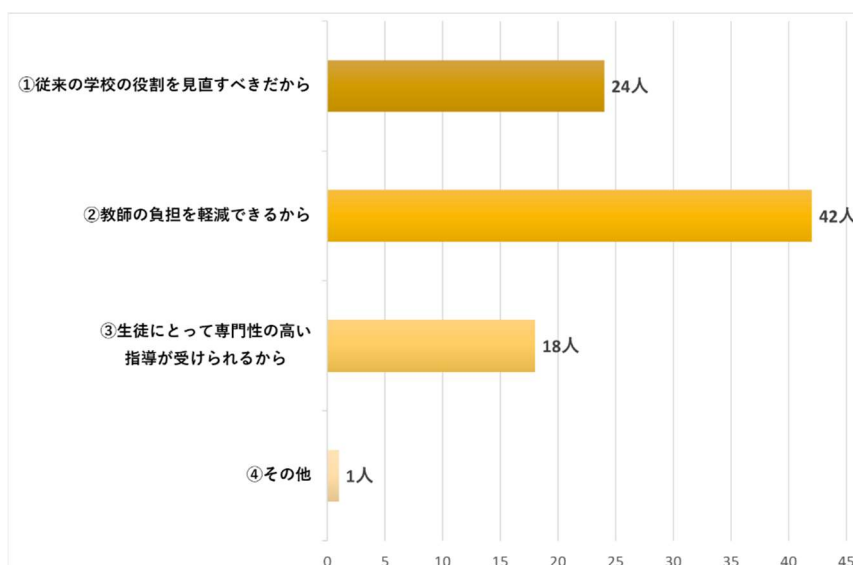
#### （２）結果概要

Ｑ１．休日の部活動を地域が担うことについて、どう思われますか。



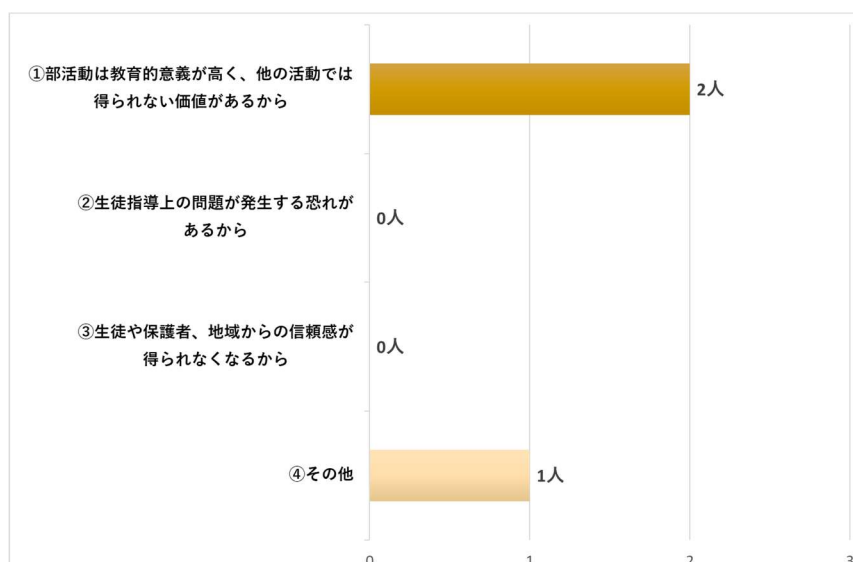
- ・①「賛成である」と②「どちらかという賛成である」の回答を合わせると、85%超の結果となっており、休日の部活動を地域が担うことを肯定的に考えている教師が多いことがわかった。
- ・③「どちらかという反対である」と④「反対である」は2%であった。

Q 2. Q 1. で「(どちらかというと) 賛成である」と答えた方にお聞きします。  
次のうち、最も当てはまる理由を1つ選択してください。



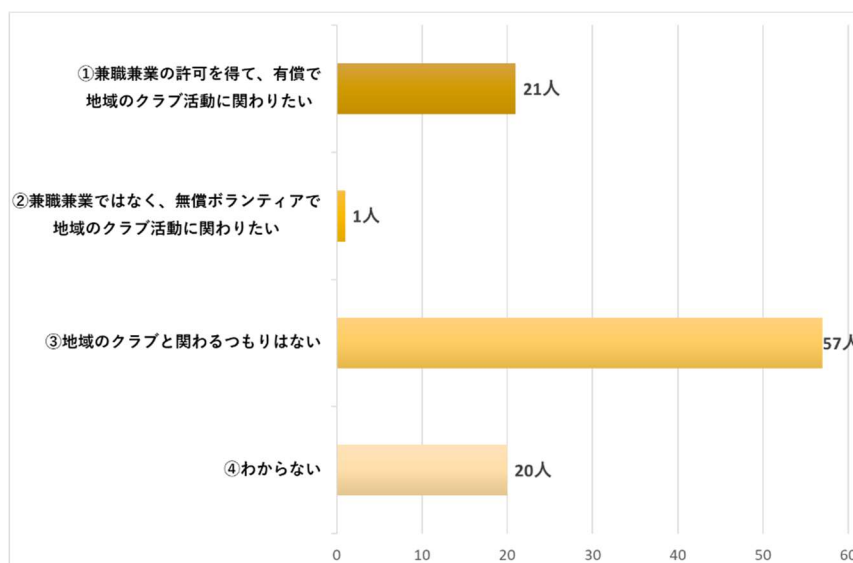
- ・ ②「教師の負担を軽減できるから」が約半数（42 人）を占めた。
- ・ 次いで①「従来の学校の役割を見直すべきだから」が約 3 割（24 人）、③「生徒にとって専門性の高い指導が受けられるから」は約 2 割（18 人）という結果であった。
- ・ 負担軽減を考える教師が多いことがわかった。

Q 3. Q 1. で「(どちらかというと) 反対である」と答えた方にお聞きします。  
次のうち、最も当てはまる理由を1つ選択してください。



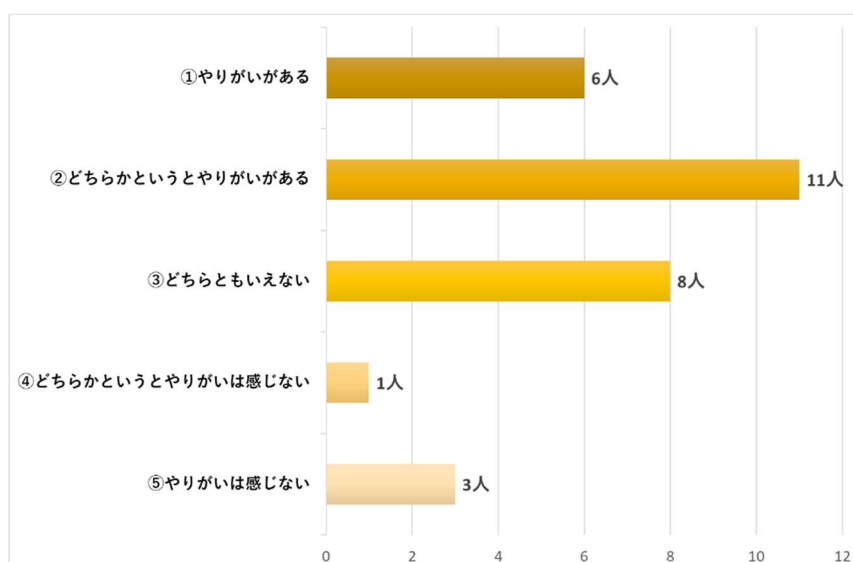
- ・ 回答数は少数であったが、①「部活動は教育的意義が高く、他の活動では得られない価値があるから」と考える意見と、記述意見があった。

Q 4. 休日の部活動が地域移行した場合、あなたはどのように地域のクラブと関わりたいと思いますか。



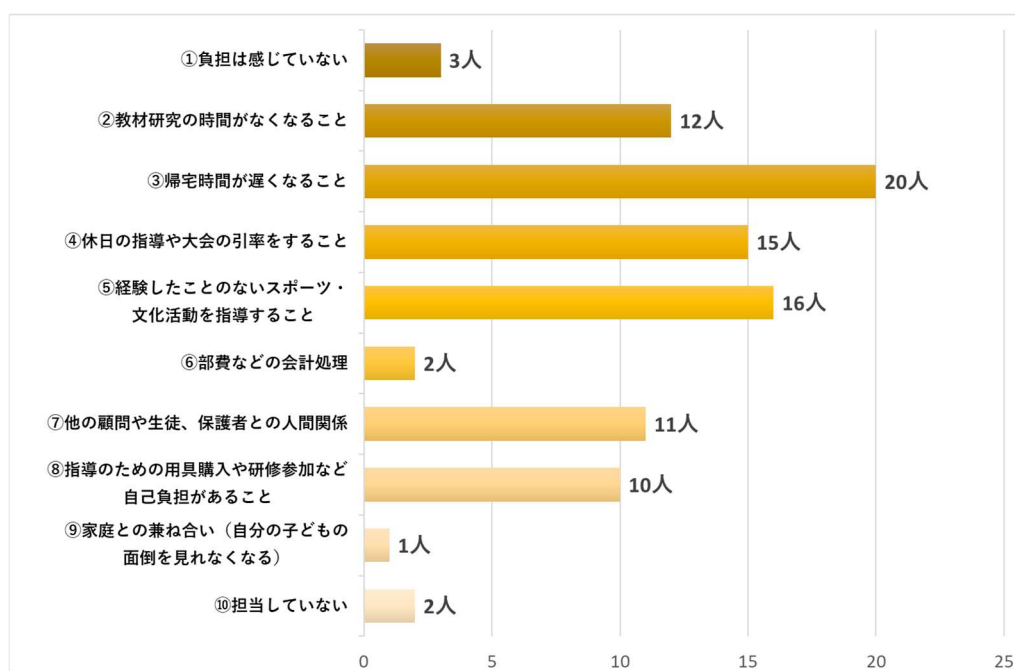
- ・最も多い回答が、③「地域のクラブと関わるつもりはない」で約6割であった。
- ・一方では、①「兼職兼業の許可を得て、有償で地域のクラブ活動に関わりたい」と②「兼職兼業ではなく、無償ボランティアで地域のクラブ活動に関わりたい」を合わせて2割強の回答が得られた。
- ・また、④「わからない」と回答した方でもクラブ活動に関わりを持ちたいと考えている方がいることがわかった。
- ・地域移行した場合、指導者を希望する教師が一定数いることがわかった。

Q 5. 現在担当（顧問）している部活動における、あなたの指導状況についてお答えください。＜中学校対象＞



- ・①「やりがいがある」と②「どちらかというやりがいがある」を合わせると、約6割の教師がやりがいを感じて指導をしていることがわかった。
- ・また、3割弱の方が、③「どちらともいえない」と感じていることもわかった。
- ・一方で、④「どちらかというやりがいは感じない」と⑤「やりがいは感じない」は約1割強であった。

Q 6. あなたが現在、部活動の顧問をしている中で、どのようなことを負担に感じますか。＜中学校対象＞（複数回答可）



- ・最も回答が多かった理由は、③「帰宅時間が遅くなること」で約 65%（20 人）の教師が回答している。
- ・次いで、2 番目に回答が多かったのは、⑤「経験したことのないスポーツ・文化活動を指導すること」で約半数強、次いで 3 番目に多かったのは、④「休日の指導や大会の引率をすること」で約半数弱であった。
- ・時間的な負担が大きいと感じている状況が浮き彫りになった。
- ・4 番目になるのは、②「教材研究の時間がなくなること」やそれ以下の⑦「他の顧問や生徒、保護者との人間関係」、⑧「指導のための用具購入や研修参加など自己負担があること」など負担の要因が多岐に渡ることもわかった。

#### 【教師アンケートまとめ】

休日の部活動を地域が担うことを肯定的に考えている教師が多く、その賛成理由として、「教師の負担を軽減できるから」と考えていることが判明した。

また、地域移行した場合に指導者を希望する教師が一定数いるため、こうした教師に対し、兼業兼職の制度設計をしていくことが必要である。

また、現在の部活動顧問として負担に感じていることは、時間的な負担が大きいことや負担の要因が多岐に渡ることも明らかになった。

### 3 児童生徒・保護者アンケート調査結果

#### (1) アンケート調査の実施内容

##### ①目的

今後の豊山町における「部活動の地域移行」に向けた検討資料とするために、町立小学校・中学校の児童生徒・保護者から部活動に対する考えを把握すること。

##### ②調査期間

令和6年1月12日（金）～18日（木）

##### ③調査対象者

###### 【児童生徒】

町立小学校4～6年生：479名／491名（98%）

町立中学校1～2年生：297名／323名（92%）

###### 【保護者】

町立小学校4～6年生の保護者：405名／491名（82%）

町立中学校1～2年生の保護者：264名／323名（82%）

##### ④回答方法

###### 【児童生徒】

学校タブレット端末での回答

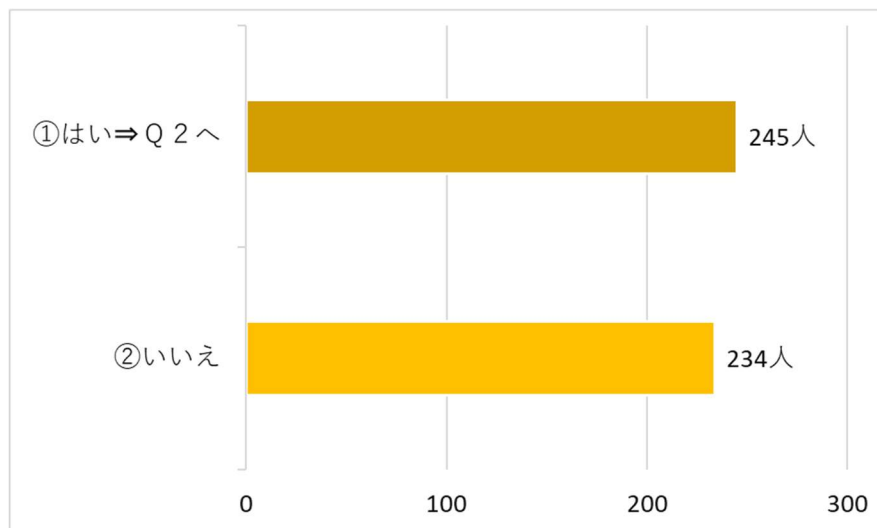
###### 【全保護者】

メール配信によるウェブ上での回答

#### (2) 結果概要

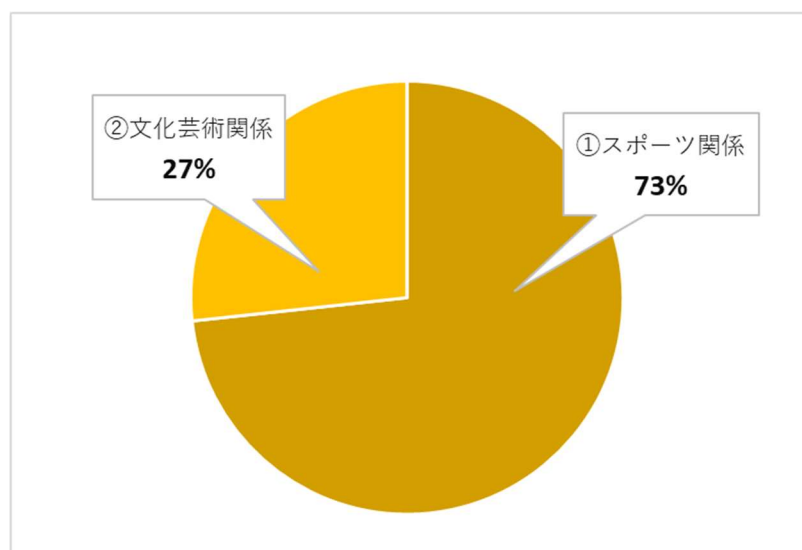
##### ①町立小学校4～6年生

Q1. あなたは現在、休日にスポーツ少年団で活動または他の習い事をしていますか？



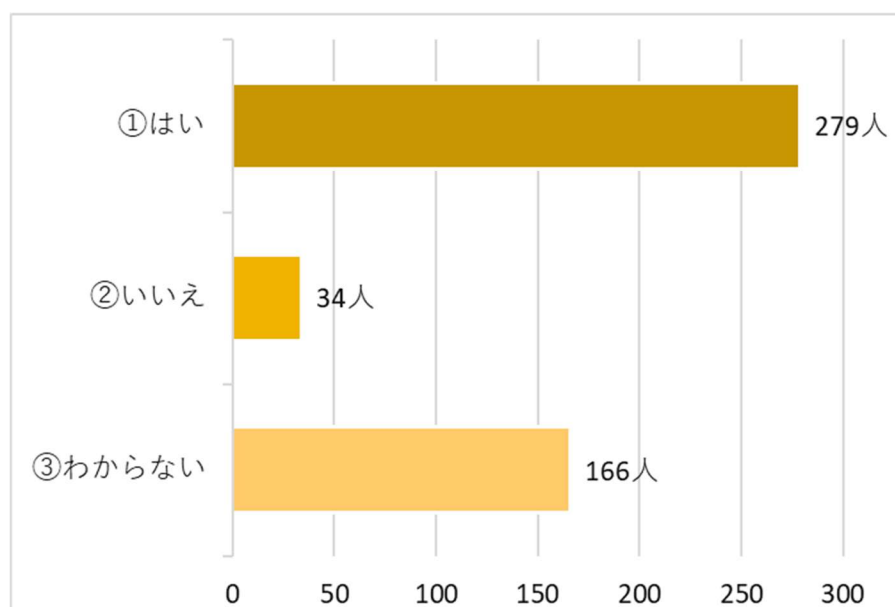
・休日にスポーツ少年団やその他の習い事をしている児童は約半数であることがわかった。

Q 2. Q 1. で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたが現在、休日に活動または習い事をしているものは、何ですか？



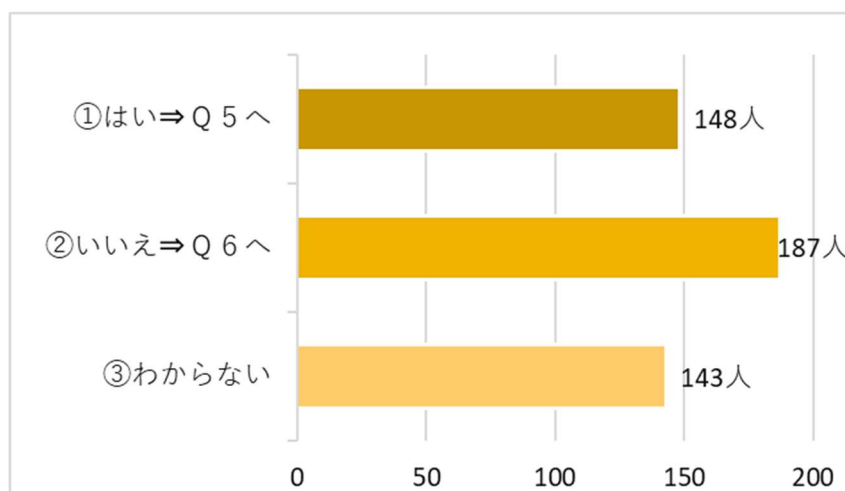
・休日に習い事をしている児童の内訳として、スポーツ関係が約4分の3、文化芸術関係が約4分の1となっている。また、その内の約30人は両方の活動をしている。

Q 3. あなたが中学生になった時、学校で行う部活動に加入しますか？



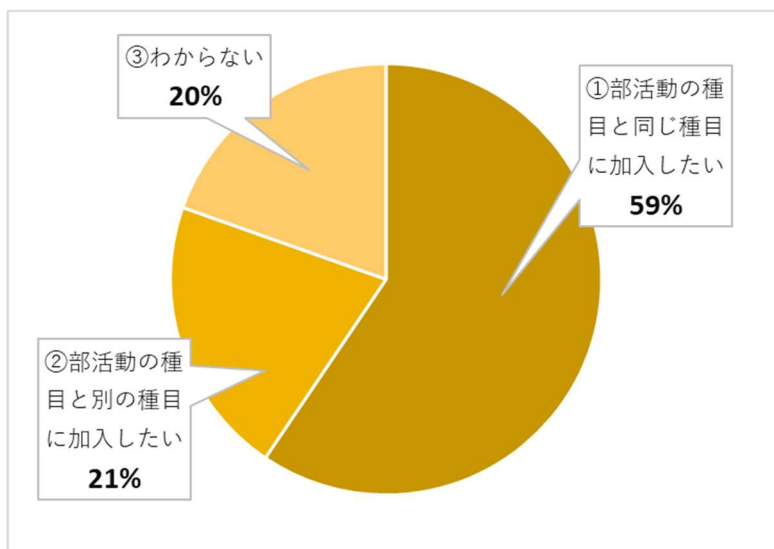
・中学生になった時に「部活動に加入する」と回答したのは、約60%（279人）であり、多くの小学生に部活動への参加意欲がみられた。次いで、③「わからない」が約35%（166人）で、②「いいえ」の回答は約7%（34人）であった。

Q 4. 中学生になった時、休日の活動が地域移行している場合、地域クラブに加入したいと思いますか？



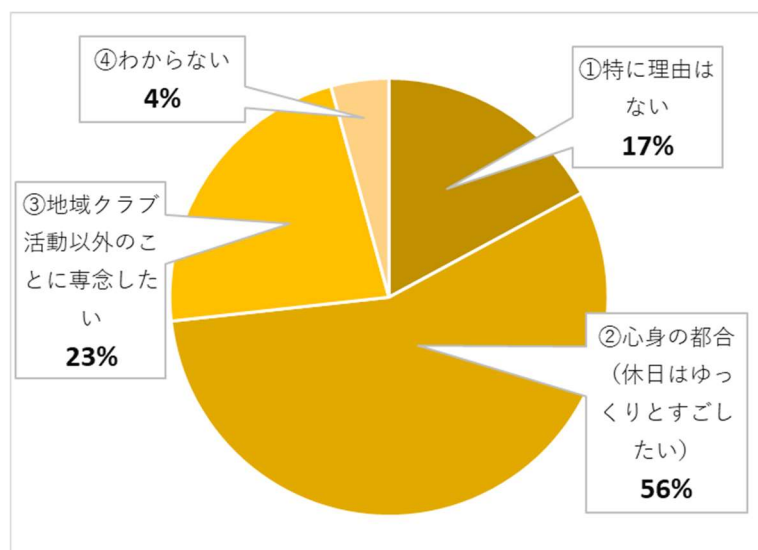
・休日の活動が地域移行された場合に地域クラブに加入するかどうかの回答は、ほぼ三等分に分かれた。「はい」よりも「いいえ」の回答が多く、「わからない」も約3割（143人）の回答があった。

Q 5. Q 4で「はい」と答えた方にお聞きします。地域クラブに加入する際の考えについてお聞きかせください。



・加入したいと回答した理由の約6割が、部活動と「同じ種目」を考えているが、「別の種目」も2割程度あった。

Q 6. Q 4. で「いいえ」と答えた方にお聞きします。「地域クラブに加入しない」とした理由をお聞かせください。

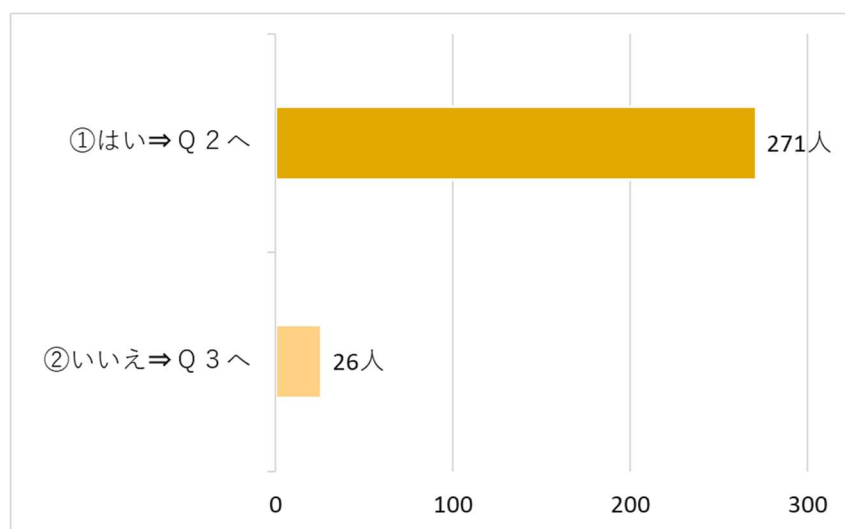


・加入しないと回答した理由の最も多くが「心身の都合」であり、休日をゆっくり過ごしたいと考えていることがわかった。また、「地域クラブ活動以外に専念したい」の回答が23%あった。



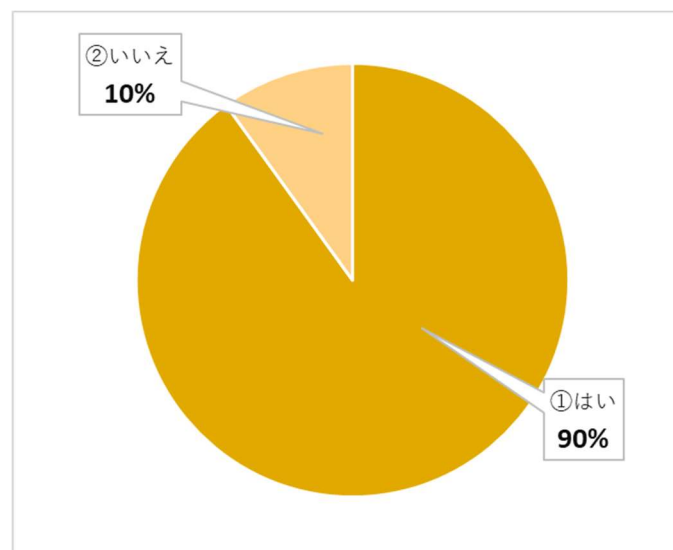
②町立中学校 1～2 年生

Q 1. あなたは現在、部活動に加入していますか？



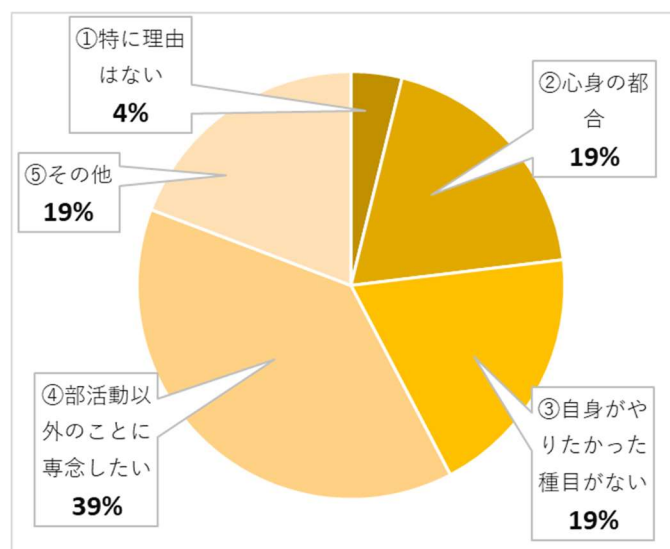
- ・ 現在部活動に加入している生徒は約 90%（271 人）である。

Q 2. Q 1. で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたが現在加入している部活動は、自身がやりたかった種目ですか？



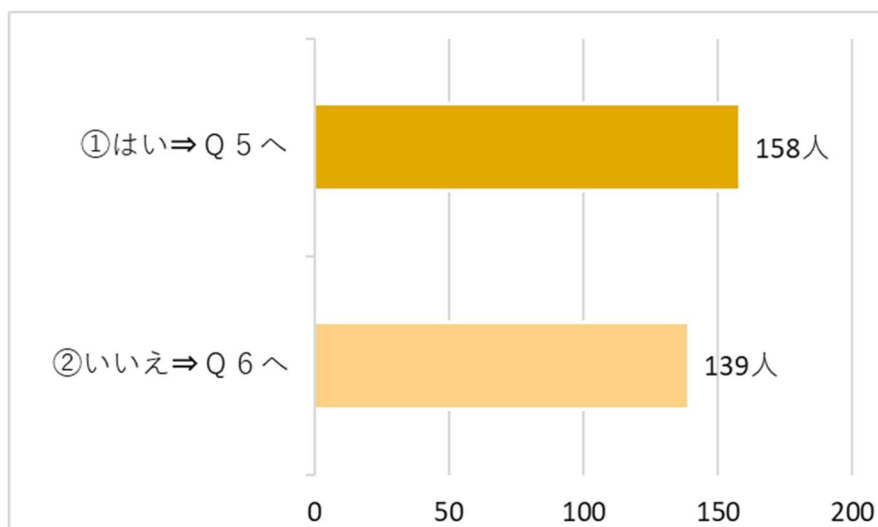
- ・ 現在部活動に加入している生徒のうち 90%（244 人）が、自分のやりたい種目で活動していることがわかった。

Q 3. Q 1. で「いいえ」と答えた方にお聞きします。部活動に加入しなかった理由をお聞かせください。



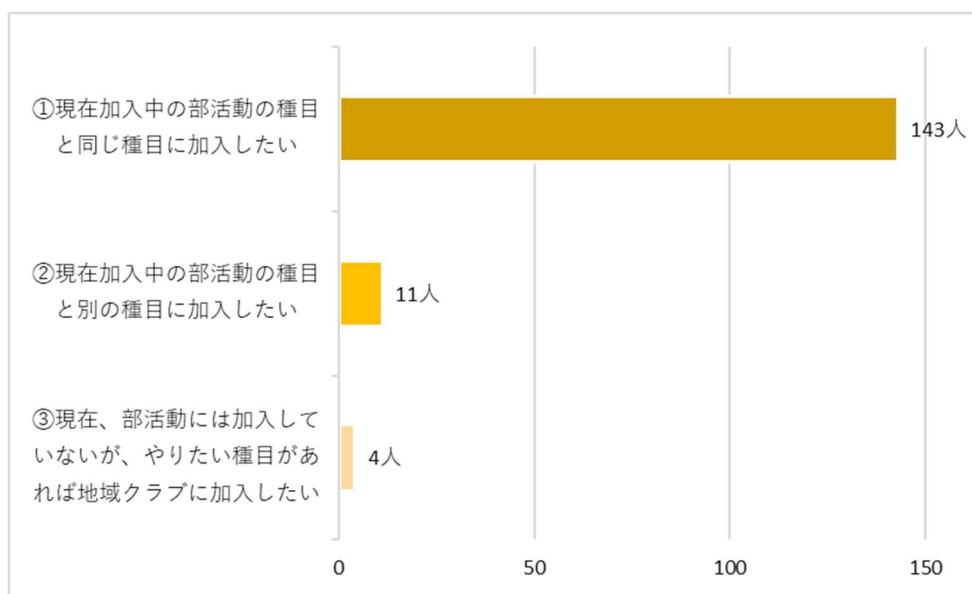
・少数の部活動に加入していない生徒（26人）のうち、39%（10人）は部活動以外に専念したいことがわかった。

Q 4. 休日の活動が地域移行した場合、地域クラブに加入したいと思いますか？



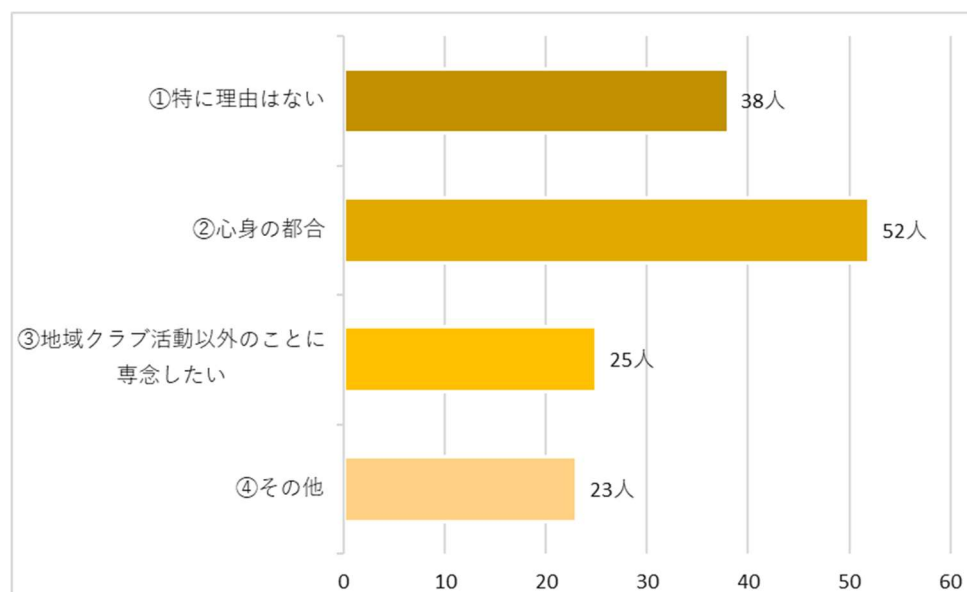
・休日の活動が地域移行した場合に、地域クラブに加入したいと考える生徒は158人であり、半数を超える生徒が加入について前向きに考えていることがわかった。

Q 5. Q 4. で「はい」と答えた方にお聞きします。地域クラブに加入する際の考えについてお聞きかせください。



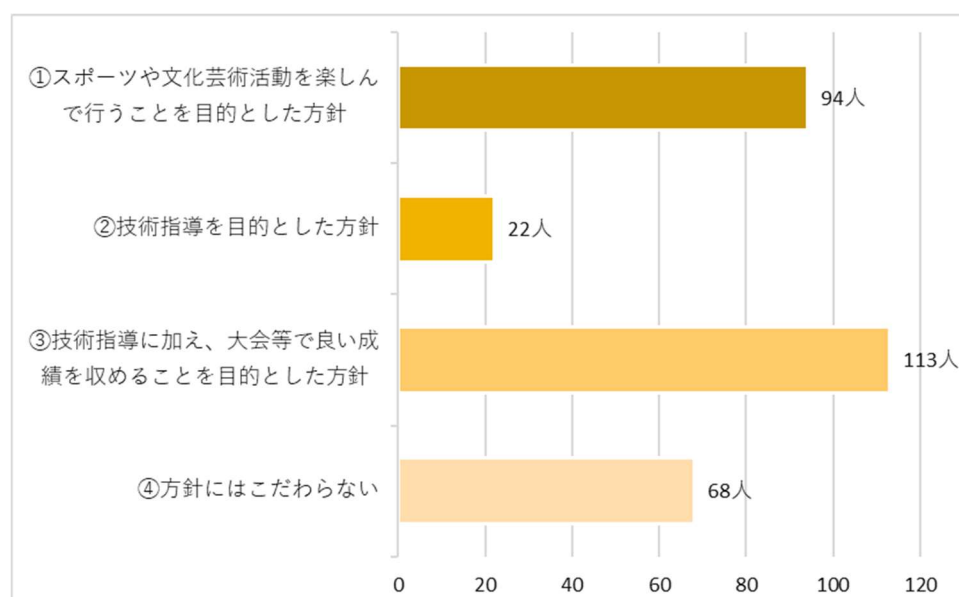
・加入を考えている生徒の約9割（143人）が、①「現在加入中の部活動の種目と同じ種目で参加したい」と回答があった。

Q 6. Q 4. で「いいえ」と答えた方にお聞きします。「地域クラブに加入しない」とした理由をお聞かせください。



・加入しない理由の約4割（52人）が「心身の都合」と回答しており、休日をゆっくり過ごしたいと考えていることがわかった。また、「理由なし」「その他」の回答を合わせると約45%（61人）となった。

**Q 7. 休日の部活動が地域移行した場合、地域クラブの活動方針として望むものに近いのはどれですか？**



・地域クラブの活動方針については、参加する意向が半数を超えていることもあり、③「技術指導に加え、大会等でよい成績を収めることを目的とした方針」が最も多く、次いで①「スポーツや文化芸術活動を楽しんで行うことを目的とした方針」、④「方針にはこだわらない」という順の結果になった。

**【児童生徒アンケートまとめ】**

休日にスポーツ少年団や習い事をしている児童（小学生）は約半数であり、現在部活動に加入している生徒（中学生）は約9割である。

休日の活動が地域移行された場合に地域クラブに加入するかどうかという質問に対し、児童では「はい」「いいえ」「わからない」がほぼ三等分に分かれた。加入したいと回答した約6割が「部活動と同じ種目」を考えているが、「別の種目」も2割程度あり、生徒の結果と差異が見られた。

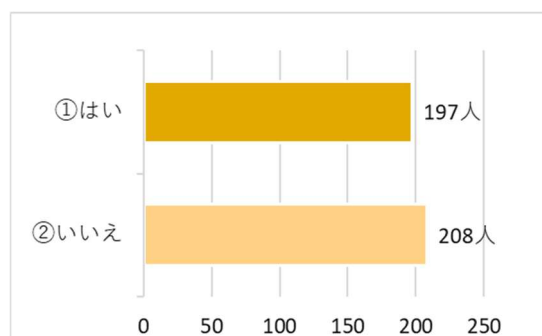
地域クラブに加入したいと考える生徒は、53%であり、半数を超える生徒が前向きに考えていることが判明した。加入を考えている生徒の約9割が、「部活動と同じ種目で参加したい」ことから、地域クラブの種目を検討する場合には、現在の部活動の種目を中心に考えていく必要がある。

地域クラブの活動方針については、「大会でよい成績を目指す」ことが最も多く、次いで「楽しんで行う」、「こだわらない」という順の結果になった。地域クラブの指導のあり方については、指導者の依頼を含めて慎重に検討していくことが求められる。

### ③保護者

#### 【小学生】

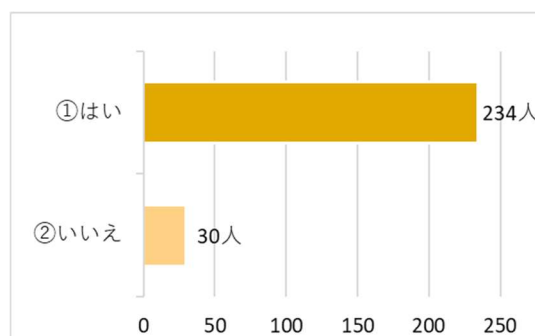
Q 1. お子さんは現在、休日にスポーツ少年団で活動または他の習い事をしていますか？



・児童の結果と同様に、休日に活動に取り組んでいる児童は約半数である。

#### 【中学生】

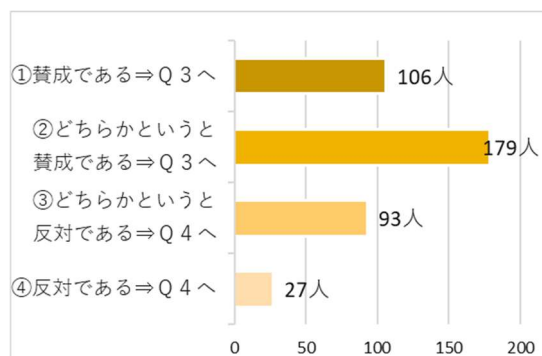
Q 1. お子さんは現在、部活動に加入していますか？



・生徒の結果と同様に、現在部活動に加入している生徒は約9割である。

#### 【小学生】

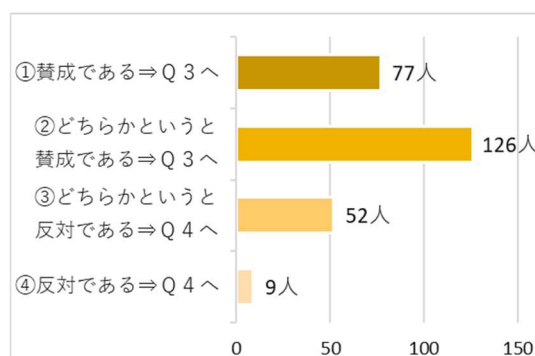
Q 2. 中学校の休日の部活動を地域が担うことについて、どう思われますか？



・約7割（285人）の保護者が賛成またはどちらかといえば賛成と回答しており、地域クラブについて肯定的な考えが多いことがわかった。

#### 【中学生】

Q 2. 中学校の休日の部活動を地域が担うことについて、どう思われますか？

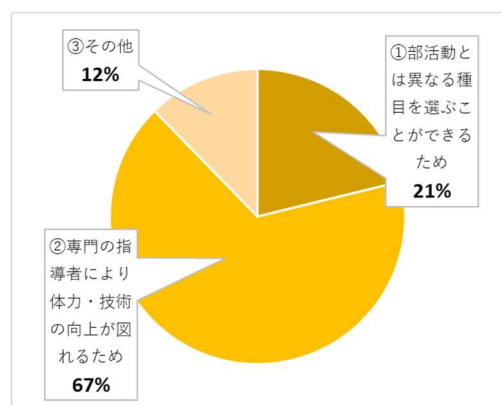
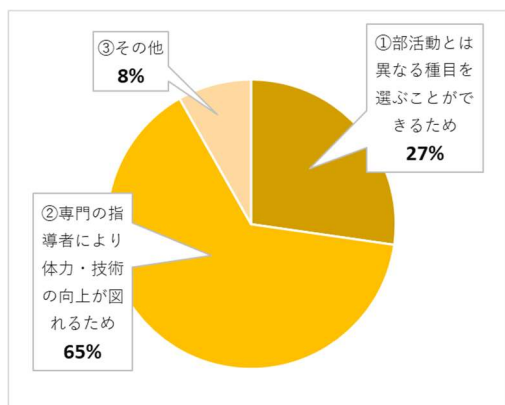


・約8割（203人）の保護者が賛成またはどちらかといえば賛成と回答しており、小学生の保護者と同様、地域クラブについて肯定的な考えが多いことがわかった。

【小学生】

【中学生】

Q3. Q2. で「（どちらかという）賛成である」と答えた方にお聞きます。  
その理由をお聞かせください。（複数回答可）



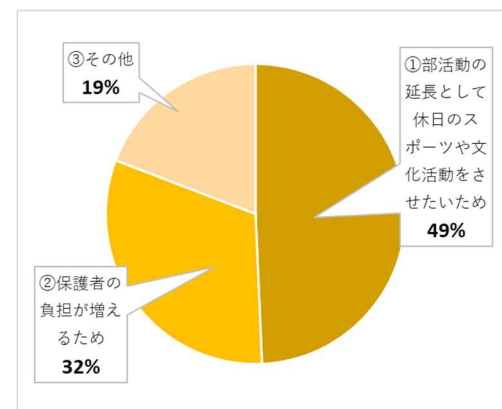
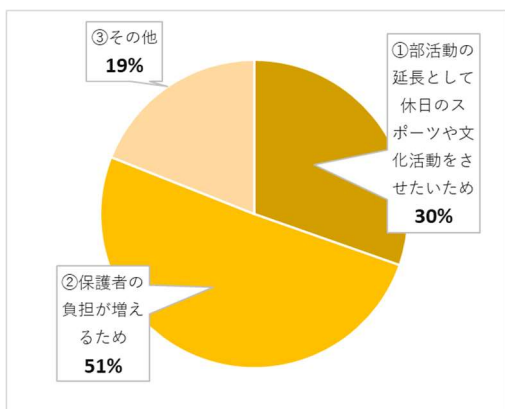
- ・賛成の理由として約3分の2の方が、②「専門の指導者による指導が受けられること」を挙げている。

- ・賛成の理由として約3分の2の方が、②「専門の指導者による指導が受けられること」を挙げている。また記述の回答には、教師の負担が減ることについても複数の意見が見られた。

【小学生】

【中学生】

Q4. Q2. で「（どちらかという）反対である」と答えた方にお聞きます。  
その理由をお聞かせください。（複数回答可）



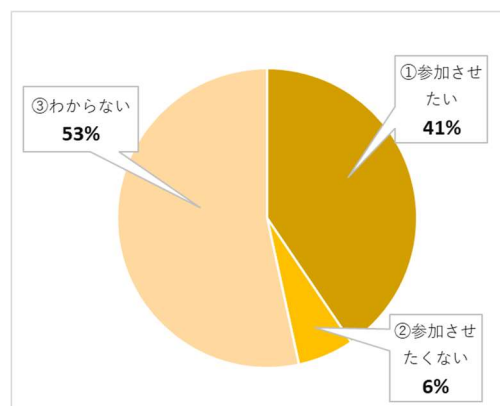
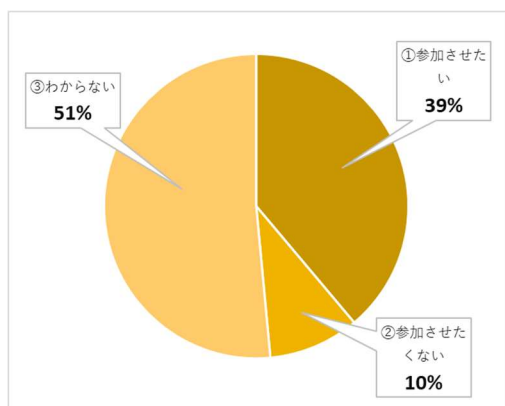
- ・反対の理由としては、約半数の保護者が②「保護者の負担が増えること」を想定していることがわかった。また、約3割の方が部活動の延長として考えていることも明らかになっている。

- ・反対の理由としては、約半数の保護者が①「部活動の延長として休日のスポーツや文化活動をさせたい」と考えていることがわかった。また、約3割の方が②「保護者の負担が増えること」について考えていることもわかった。

【小学生】

【中学生】

Q 5. 中学校の休日の部活動が地域移行した場合、お子さんを地域クラブに参加させたいと思いますか？



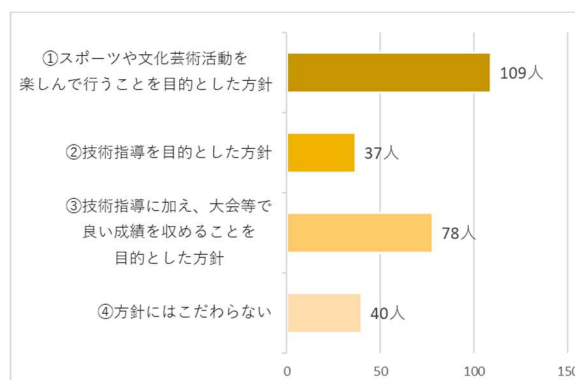
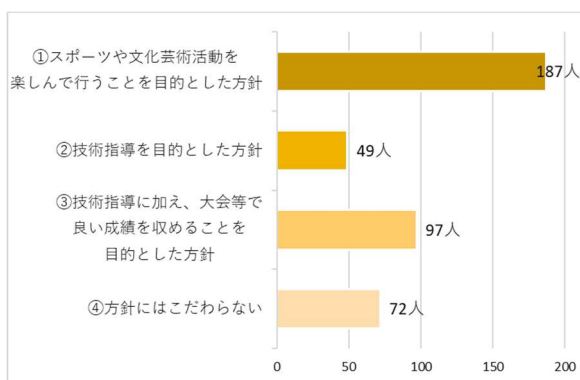
・約半数の方が③「わからない」と回答した。次いで、約4割の方が①「参加させたい」と考えており、地域移行の必要性について一定の理解が得られていことがわかった。

・半数超の方が③「わからない」と回答した。記述回答からも具体的な受け皿となる仕組みが分からないという意見があった。また、約4割の方が①「参加させたい」と考えており、小学生の保護者と同様に、地域移行の必要性について一定の理解が得られていことがわかった。

【小学生】

【中学生】

Q 6. 中学校の休日の部活動が地域移行した場合、地域クラブの活動方針として望むものに近いのはどれですか？



・活動方針については①「スポーツや文化芸術活動を楽しんで行うことを目的とした方針」が最も多く、次いで、③「技術指導に加え、大会等で良い成績を収めることを目的とした方針」となっている。

・活動方針については①「スポーツや文化芸術活動を楽しんで行うことを目的とした方針」が最も多く、次いで、③「技術指導に加え、大会等で良い成績を収めることを目的とした方針」となっており、小学生の保護者と同様である一方で、生徒との差異が見られた。

### 【保護者アンケートまとめ】

休日の部活動が地域クラブに移行することについては、約7から8割の保護者が「(どちらかといえば)賛成」と回答している。その理由として約3分の2の方が「専門の指導者による指導」を挙げている。記述の回答には、「先生の負担が減ること」についても複数の意見が見られた。一方、反対の理由としては、児童の保護者は「保護者の負担が多くなること」、生徒の保護者は「部活動の延長として休日のスポーツや文化活動をさせたい」と考えていることも明らかになった。理由について、小学校と中学校の保護者の結果には相違が見られた。

また、地域移行した場合に子どもを地域クラブに参加させるかとの質問に対して、約半数の方が「わからない」と回答した。次いで、約4割の方が「参加させたい」と考えており、地域移行の必要性を考えていることが分かった。また、活動方針については「楽しんで行う」が最も多く、ついで「良い成績を目指す」となっており、小学校と中学校の保護者ともに同じ傾向であるが、生徒の意見との差異が見られた。

これらのことから、保護者負担については今後検討し、保護者への地域移行の理解促進の場（説明会など）を設定していく必要があるものとする。



## 4 答申に向けて

### (1) 答申 ➡ 中間まとめ (令和4年度第2回審議会確認)

国が、当初「令和7(2025)年度末」としていた地域以降の達成目標は、各自治体から3年間の達成は厳しいとの声を受け、「設定しない方針」に転じ、方針が「集中」から「推進」に変わったことから、当初目標にしていた令和5年度中の「答申」を、「中間まとめ」として、諮問に対して答える。なお、次年度以降も答申に向け、継続審議とする。

### (2) 部活動の地域移行に向けた基本的な考え方(令和5年度第1回審議会確認)

#### ①中学校の部活動

- ・生徒理解を深める場としても重要であるため、地域移行・地域連携を実施しても、現在、部活動に所属している生徒たちの活動や学校生活への充実が十分に保障された環境の構築を図られたい。

#### ②部活動の地域移行

- ・まずは、「休日の部活動の地域移行や地域連携」を段階的に進める。
- ・委員の皆様からも意見があったとおり、生徒の多様なニーズに合った活動機会を選択するなど、創意工夫を凝らしながら、質の高い教育活動の機会の体制整備を検討する必要がある。
- ・豊山町においては、まずは、今ある資源を最大限に活用し、例えば、総合型地域スポーツ・文化クラブなどにより、中学校の部活動の地域移行・地域連携の実践研究を行い、できることから順次、取り組みを進められたい。

#### ③学校における働き方改革

- ・部活動の地域移行に関する取組は、「学校における働き方改革」の一環である。
- ・生徒を中心においた、学習環境を確保する一方で、特に休日の部活動における教師の負担軽減やワークライフバランスに配慮されたい。

### (3) アンケート調査結果の反映

- ・休日の部活動の地域移行は、教師の負担を軽減できることや従来の学校の役割を見直すべきと考える教師が多いことがわかった。また、地域移行後の地域のクラブ活動の指導者を希望する教師がいることがわかった。
- ・児童生徒・保護者についても、地域移行に肯定的な方が多いことがわかった。また、児童生徒の意見として、部活動と同じ種目で地域クラブ活動に参加したいこと、保護者からの意見として、保護者負担や指導の専門性、教師の負担軽減についての考えを持っていることもわかった。
- ・このことから、まずは休日から地域クラブ活動への移行を進めるとともに、現在の部活動種目の継続も検討する。また、地域のクラブ活動の指導者を希望する教師に対し、兼業兼職の制度設計をしていく。

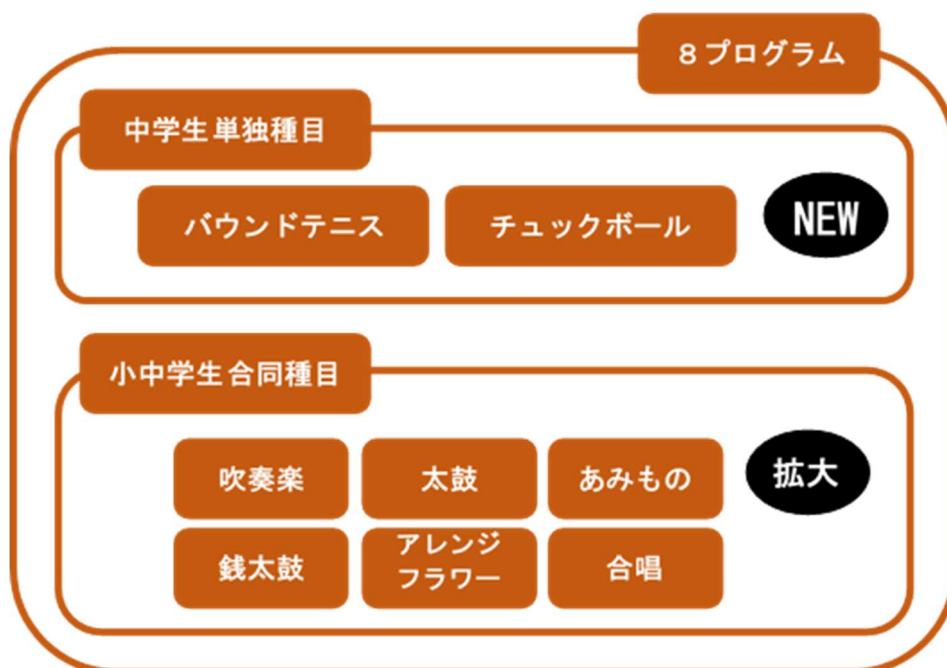


- ・以上の内容を踏まえ、「部活動の地域移行について(中間まとめ)」を作成する。素案は別添参照。

## 5 令和6年度の取り組み（案）

### ■「総合型地域スポーツ・文化クラブ（わくわくくらぶ）」の活用

- ・現在、小学生高学年向けに実施している「総合型地域スポーツ・文化クラブ（わくわくくらぶ）」を中学生向けに拡充することにより、休日の部活動の地域移行に取り組む。
- ・中学生向けの種目として、バウンドテニスとチェックボール、吹奏楽、太鼓など計8プログラムを予定している。



### ■その他

- ・令和5年度は、以下の16講座を中学生の参加が可能なものとして実施した。令和6年度においても、文化系・アカデミー系・スポーツ系の各種講座を実施する。

| 文化系 |             | アカデミー系 |            | スポーツ系 |              |
|-----|-------------|--------|------------|-------|--------------|
| No. | 講座名         | No.    | 講座名        | No.   | 講座名          |
| 1   | 苔ラマづくり      | 1      | やさしい英会話    | 1     | ノルディックウォーク教室 |
| 2   | 折り紙講座       | 2      | 親子科学マジック教室 | 2     | ミニテニス教室      |
| 3   | クリスマスリースづくり | 3      | 歴史講座       | 3     | 長距離走教室       |
| 4   | 親子ドローン講座    |        |            | 4     | ニュースポーツ教室    |
| 5   | 多肉植物の寄せ植え   |        |            | 5     | ユニバーサルスポーツ教室 |
| 6   | ウクレレ講座      |        |            | 6     | スラックライン体験教室  |
| 7   | コーヒー講座      |        |            |       |              |